

# 生活支援体制整備事業における 取組状況および課題について

草津市 長寿いきがい課  
地域保健課

# 生活支援体制整備事業 概要

# 地域包括ケアシステムの構築について

○高齢化の進展だけでなく、単身世帯や高齢者のみの世帯が増加し、支援を必要とする高齢者が増加することで、生活支援の必要性が増大していく中…

## 草津市がめざす地域包括ケアシステムの姿



## 誰もが暮らしやすい地域づくりをいかに進めるか

# 地域包括ケアシステムの構築について

医療・介護のサービスが充実しただけでは、365日地域で暮らし続けることは容易ではありません。介護が必要になる前から地域で気かけ合い・見守り合い・支え合うことが重要です。

## 現状の課題

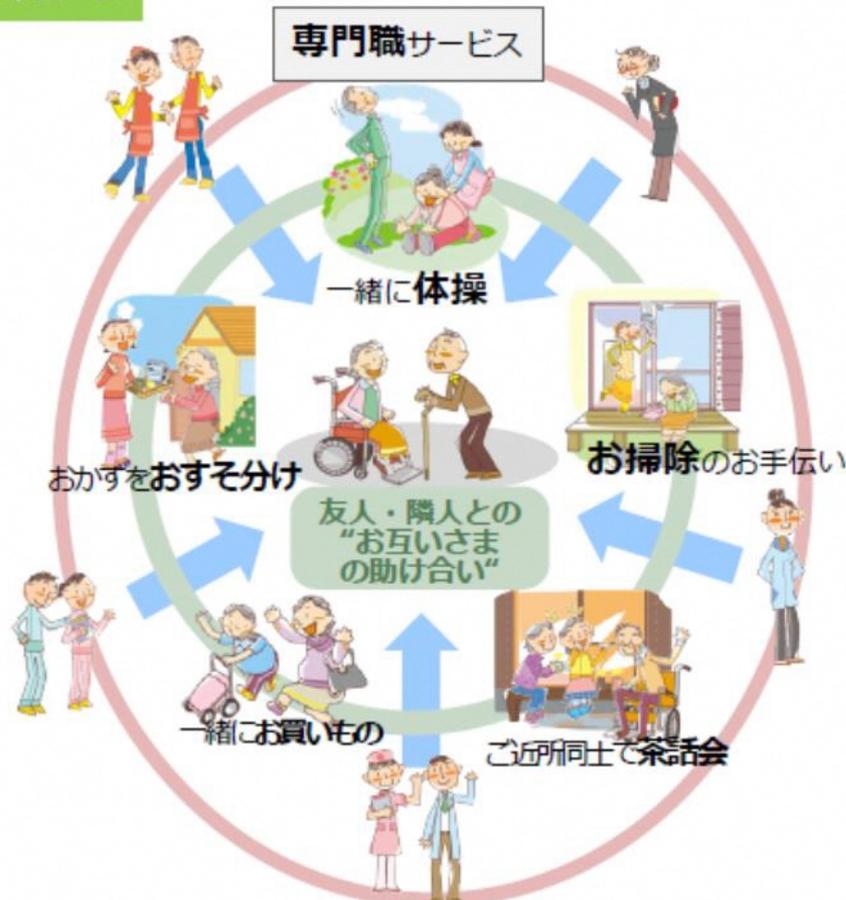


支援や介護が必要になると、友人・隣人との関係は希薄になり、支援を受ける一方の人間関係に変化



これまでの地域との  
つながりは疎遠に？

## これから



“お互いさまの助け合い”の輪を広げていくことで、支援や介護が必要になっても、地域社会の中から切り離されず、なじみの関係を継続できる

出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング「地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業の市町村による円滑な実施に向けた調査研究事業 新しい総合事業における移行戦略のポイント解説(中間報告)」平成27年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業)

# 基本施策(1)地域ケアネットワークの構築 基本施策(2)助け合い・支え合い活動の充実

## 事業

### 3 生活支援体制整備事業の推進

#### 【目的】

地域の様々な関係者のネットワークを構築し、高齢者の生活に必要な地域資源を把握するとともに地域の高齢者の困り事は何かを考え、必要な地域資源を拡大・創出することで、高齢者の介護予防やお互い様の声かけ・見守りをはじめとする生活支援の充実を推進する。

→地域包括ケアシステムの構築＝住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるまちづくりの推進

#### 1. 協働の基盤づくり

チームを組み、試行錯誤の協働を通じてチーム力を高めていく

#### 2. 地域資源の把握と地域課題の抽出

地域づくりを「自分ごと」として捉える人を増やすと同時に、資源の充実に向けた方針を検討する

#### 3. 地域資源の充実

①多様な参加の  
きっかけ作り

②今ある活動や  
サービスの強化

③新たな活動や  
サービスの開発

生活支援コーディネーター  
(地域支え合い推進員)

＋  
協議体

第1層（市域全域）

第2層（各小学校区）

第1層協議体、生活支援  
コーディネーターの役割

◇地域横断的な課題の抽出  
や資源の充実

◇複数の第2層、市全域、  
広域で左記の機能を実施

※SC…生活支援コーディネーター

## 第1層 (市域全域)

草津市あんしんいきいきプラン委員会  
(=第1層協議体)

第1層SC (長寿いきがい課)

第1層協議体

平成31年2月27日開催の第3回草津市あんしんいきいきプラン委員会において、草津市あんしんいきいきプラン委員会を第1層協議体と位置付けることを了承いただいています。



【役割】

- 市域全域や複数の第2層協議体に関わる広域的観点から
- ◎ 企画、立案、方針策定を行う場
- ◎ 地域づくりにおける意思統一（方向性の共有）の場
- ◎ 地域づくりを推進するための施策等の検討

## 第2層 (小学校区)

第2層SC

第2層SC

第2層SC



第2層協議体

第2層協議体

第2層協議体

【役割】

- 各小学校区（第2層）において、
- ◎ 有機的なネットワーク化
- ◎ ニーズと取組のマッチング
- ◎ 地域資源の発見・新たな創出

※第2層SCは市社協へ委託。また、地域保健課が第2層SCを支援。

※協議体…「学区の医療福祉を考える会議」において、地域課題から地域づくりを行う主体

# 草津市における 令和4年度の取組

## 令和4年度 取組方針

**目指す姿：住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられるまちづくり**

### ねらい・方向性

- ・市社会福祉協議会に第2層SCを配置し、市・地域包括支援センターとの連携のもと、各学区での協議体の設置・運営に向けて取り組む。
- ・第2層協議体では解決できない地域横断的または市全域の課題として検討が必要な事項については、第1層協議体において協議する。

### R4年度方針

- ・地域のインフォーマルサービスを周知し、新たな利用者が増え、現利用中の高齢者が辞めていかない体制の検討を行う。
- ・地域の活動団体と専門職にそれぞれの現状を知ってもらい、一緒に孤立化防止に向けて活動できるよう土壌づくりをする。
- ・第1層協議体である「草津市あんしんいきいきプラン委員会」において、第2層（各学区）の取組状況や課題等について報告を受け、市域全体として検討が必要な課題や対策等について協議する。

## 取組実績（市）

### 第1層SC（長寿いきがい課）

#### フォーマルとインフォーマルが連携した支援ができる体制づくり

- ・ケアマネジャー等の介護事業所に対する、地域資源の実効的な周知方法について、第2層SC・地域保健課（地域包括支援センター・第2層SCの委託元）と協議。
- ・地域サロン交流会にケアマネジャーを招き、双方の活動の理解に向けた意見交換を実施。  
（令和4年12月16日）



#### 地域課題を協議体における取組に繋げる仕組みづくり

- ・第2層において、高齢者の多様な日常生活上の支援の充実、強化および社会参加活動の創出に向けた取組を推進することができるよう、地域ケア会議推進事業において地域課題を抽出し、協議体に繋げる仕組みを強化するよう、第2層SCと地域保健課に働きかけた。

#### 生活支援サポーター養成講座

- ・例年どおり生活支援サポーター養成講座を開催。（R5.1.26～1.27）
- ・生活支援サポーターステップアップ講座を開催（R4.11.10）し、生活支援サポーターの新たな活動への繋がり、一緒に活動する仲間づくりの場となり、新たな活動団体創設のきっかけづくりを行った。

# 基本施策(1)地域ケアネットワークの構築

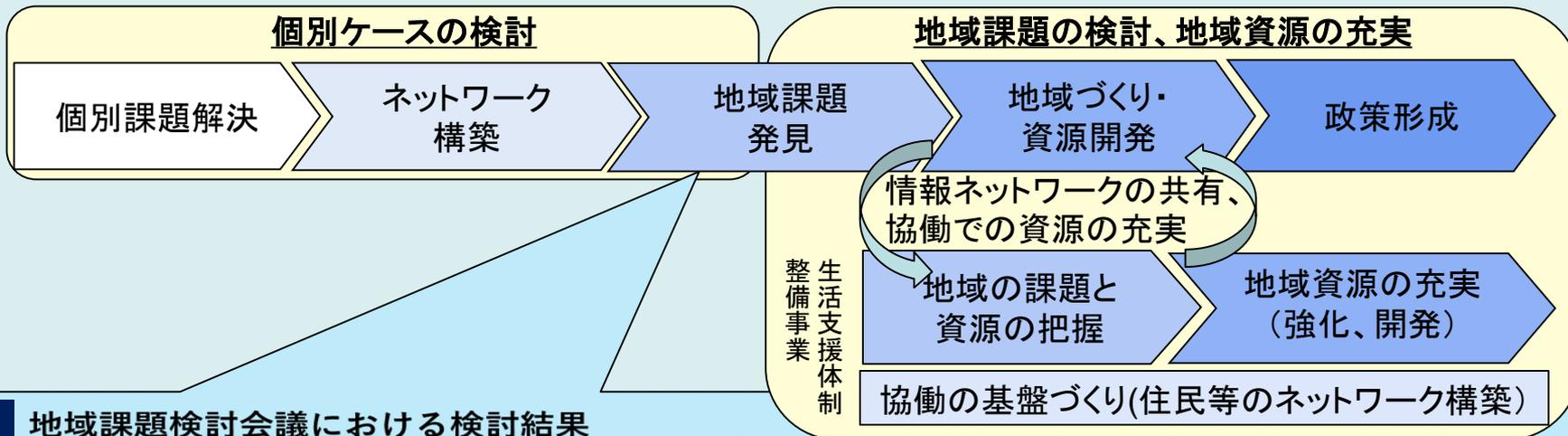
## 基本施策(2)助け合い・支え合い活動の充実

### 地域保健課

#### 地域課題の抽出方法を整理

- ・地域ケア個別会議において抽出された課題について、第2層SCを交え、地域包括支援センターと地域保健課の3者で解決方法（内容、実施者、対象）を協議した。

地域ケア会議  
推進事業



#### 地域課題検討会議における検討結果

具体事例

| 地域課題                  | 原因の明確化・不足する資源の把握                         | 解決に向けて  |
|-----------------------|--|---|
| 男性介護者の介護・家事的負担        | 介護等の負担感も大きいですが、男性自身が地域との繋がりが希薄で、楽しみがない   | <b>地域課題への更なる転換に向けた検討の結果...</b><br>包括・地区担当保健師が、民生委員（高齢男性）が地域と繋がったきっかけや動機について実態把握 |
| 徒歩圏内に商業施設がない          | 自分の目で見たい買い物をしたい高齢者は多い。移動販売を利用している人も一定数ある | <b>地域課題への更なる転換に向けた検討の結果...</b><br>買い物に関する実態把握（地域サロン参加者等への調査）を学区の医療福祉を考える会議で実施   |
| 疾病等で急に動けなくなった際の生活費の確保 | 独居高齢者の場合、特にリスクが高くなるため、自分自身での備えが必要となる     | <b>解決に向けた具体的な取組の検討の結果...</b><br>包括・地区担当保健師が、金融機関と課題を共有し老後に備える啓発等、協働による取組を実施     |

## 次年度への課題（市）

### 第1層SC（長寿いきがい課）

#### フォーマルとインフォーマルが連携した支援ができる体制づくり

- ・フォーマルとインフォーマルが抱える高齢者のニーズや課題を双方が理解し、解決に向けて連携しあえるよう、交流の機会を継続して設けていく。

#### 生活支援サポーターの実態把握

- ・受講後に地域のボランティア団体に活動しているサポーターが少なく、地域住民間の支え合いの一助とはなっているものも、地域の支え合いが体制化された形で推進することができていない。
- ・生活支援サポーターの活動状況が不明であるため、実態調査をする必要がある。
- ・今年度の参加者からは、引き続きステップアップ講座の開催を希望する声があがったが、需要を調査する必要がある。

### 地域保健課

#### 地域課題の整理と解決に向けた道筋の円滑化

- ・第2層SCが高齢者のニーズや課題を把握し地域の支え合い活動等の創出に繋げることができるよう、地域課題を整理・深掘りし、解決に向けて取り組むための道筋等について検討できる機会を引き続き設けていく。

## 取組実績（第2層SC）

### ピカツと草津（駐車場を通した高齢者の見守りネットワークの構築）

- ・ 駐車場がないことで、訪問サービスを断念しなくてよいよう、自治会館やまちづくりセンター、事業所等の空き駐車場への駐車ネットワーク構築に向けた取組を地域役員に説明し、了承を得た。（令和4年12月末：3学区）

### キラツと草津（地域資源リスト作成）

- ・ 地域資源の把握、整理、分析を行い、高齢者を支える地域資源の拡充や創出につなげるために必要な取組について、第1層SC、地域保健課と協議を行った。

## 次年度への課題（第2層SC）

### ピカツと草津（駐車場を通した高齢者の見守りネットワークの構築）

- ・ 駐車場マップの作成を行い、訪問サービス事業所に提供を行う。
- ・ 活動を通じて、訪問サービス利用者を見守りネットワークの構築を目指す。
- ・ 免許返納し駐車スペースに空きのある高齢者のみ世帯にも働きかけ、貸し手の見守りも同時にできるよう働きかけていく。

### キラツと草津（地域資源リスト作成）

- ・ 地域資源把握のため、地域に入り聞き取りを行う。
- ・ 地域における資源を整理し、不足している資源・拡充できる資源を分析し、地域資源の創出につなげる。

## 取組実績(第2層SC：各学区ごと主な実績)

コロナ禍で感染症対策を行いながら、協議体（学区の医療福祉を考える会議）で検討を重ね、地域の関係者とともにさまざまな取組を実施。

- ・つながりや居場所作りを目的に、地域のサロンに入り、事業所の専門職の出前講座・相談会を実施した。【渋川】
- ・「地域の困りごと」の洗い出しを行い、地域課題の検討をふまえ、認知症予防のために地域で何ができるか、取組を検討した。【老上西】
- ・地域住民や多職種を交え、各々が感じる課題を抽出し、今後の取組を検討、住民福祉計画の策定につなげた。【玉川】
- ・学区の「あったらいいな」や介護事業所と一緒に取り組みたいことや、できることの検討をふまえ、課題と活動のマッチングについて検討した。【笠縫】
- ・地域包括支援センターが関わった事例を通じて、事業所や地域でできること、必要なサービスや制度についてグループワークを行い、我が事として事例を検討した。また地域資源マップの情報を更新し、作成している。【常盤】

# 協議事項

# 協議事項

## 地域に住む高齢者の問題

- ごみ捨てが困難
- 男性介護者は負担を抱える傾向にある
- 地域とのつながりが薄い
- 身近に集まる場がない
- 認知症への理解を深める機会が必要
- 高齢者が役割を持てる機会が少ない

地域  
は  
限  
界

## 社会的背景

- ・ 担い手不足…就労される高齢者の増加、若い世代は共働きや子育て等で多忙
- ・ 場所の確保…密を避けるのに十分な広さの場所を確保することが難しい

## 協働による取組事例

介護事業所や薬局から、協力できること（下記参照）を具体的に提案いただけた。

- 【具体的な内容】
- 事業所内の集える場の提供
  - 送迎車
  - 出前講座
  - 高齢者の活躍の場の提供

引き続き、地域の高齢者を支える地域資源の創出や、高齢者の活躍の場の創出を目指して、上記を含むこれまでの取組を進めてまいります。このうち企業・大学等と地域の連携をいっそう推進したいと考えています。

地域と企業・大学等との連携事業としてどのような取組を展開すべきか、上記の協働による取組事例も参考にさせていただき、ご意見をお伺いします。